



「あるせ」が開所しました！

5月1日、当法人の新ホーム『あるせ』が、めーぷるの隣に開所しました。

名称はスペイン語で“楓”を意味する“Arce”に由来しています。法人本部の「どうかえで」にちなんだ名前、かつ利用者さんにも覚えやすい、呼びやすい言葉、ということで選びました。(当初はカタカナで“アルセ”でしたが、若手職員から「ひらがなの方がかわいい！」という意見があり、“あるせ”に最終決定。)

平成26年度にこのホームの立ち上げを計画し始めた段階では、新しく入居を希望されている方を中心に、365日利用が目前となっている入居者を加えてスタートする予定でした。

しかしながら、平成27年度の消防法令の改定、および区分認定の結果、府営住宅を使用している5住居すべてに、スプリンクラー(SP)の設置が義務付けられることに。

設備の整った環境に引っ越すか、狭い中でもSPを設置するか…当事者の皆さんにとっては8～10年間生活し、慣れ親しんだ環境です。できるだけ住み続けられるようSP設置も検討したものの、主にスペースの問題から現実的ではありませんでした。

いろいろと悩みながら、最終的には、

- ① ソレイユの短期入所を廃止し、1名が新規入居(4/1～)、
- ②府営4住居8名の方があるせへ引っ越し、2名が新規入居(5/1～)、
- ③府営の空き部屋に8名が新規入居(5/7～)、という大変更に。

引っ越しされる方、同居者が変わってしまう方、新しく入ってこられる方が入り乱れ、我々も大きな不安を抱えながらの進行でした。

ただ、我々支援者以上に不安なのは、もちろん当事者の皆さんでしょう。住み慣れたホームを離れる怖さ、一緒に住む方が変わる不安、初めてご家族と離れて暮らす緊張…。

幸い、本稿を書いている時点(5月11日)では、引っ越し・入居・開所初週を無事終えることができましたが、まだまだ不安や緊張の表情がいっぱいです。

一日でも早く、各ホームが皆さんにとって安心して、かつ快適に、自分らしく過ごせる場所となれるよう、努力してまいります。

末筆ながら、この3年間、あるせ開設に向けご協力いただいたご家族・関係各所の皆様、SP問題で勉強会や情報共有等していただいたネットワーク・市役所の皆様に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

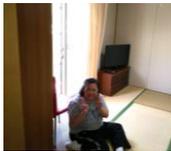
また、今後ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。(光島)

たてものなれしょうかい あるせ建物内紹介



新

にゅうきょしゃ グループホーム入居者さんにインタビュー！



☆グループホームでは何をしていますか？

- ・皆で私の部屋に集まって、TVを見て過ごしています。
1人で過ごす時には裁縫とか、編み物をして過ごしています。

☆嬉しいことは何ですか？

- ・ご飯が美味しいこと。世話人は二人とも優しいし、楽しい！（Nさん）

☆グループホームでは何をしていますか？

- ・帰ってからお茶を飲んで、自分の部屋でTVを見てゆっくり過ごしたり、お姉ちゃんからもらった音楽を聴いてるよ。世話人と散歩に行くこともあるよ。

☆困ってることは無いですか？

- ・たまに寂しい。けど世話人さん優しいし、金曜は家に帰るから大丈夫！（Iさん）



☆グループホームでの生活はどうですか？

- ・楽しい！でも金曜になって欲しい。

☆一番楽しいことは何ですか？

- ・ご飯がお肉なこと。朝ごはんがチョコパンだったこと。（Kさん）